



Press Release

2026年2月10日

報道関係各位

本資料は、ルンドベック（デンマーク・コペンハーゲン）が2026年2月4日（現地時間）に発表したものを日本語に翻訳したものであり、日本では未承認の製品が含まれます。資料の内容および解釈については英文オリジナルが優先されま
す。英文オリジナルは、<https://mb.cision.com/Main/18215/4302217/3915152.pdf>をご参照ください。

2025年は過去最高の業績を達成

売上高は CER ベースで 13%増、調整後 EBITDA は CER ベースで 24%増

ルンドベックは 2026 年の持続的成長に向けた強固な基盤を確立

主なハイライト

2025 年のルンドベックの売上高は、主に米国および欧州での堅調な業績により、CER¹ ベースで前年比 13%増（DKK12%増）となり、246 億 3,000 万デンマーク・クローネ（以下 DKK）に達しました。

- 米国：132 億 8,700 万 DKK（CER ベース 21%増、DKK ベース 17%増）
- 欧州：58 億 1,900 万 DKK（CER ベース 13%増、DKK ベース 13%増）
- インターナショナルオペレーション：48 億 5,800 万 DKK（CER ベース 3%減、DKK ベース 7%減）

ルンドベックの戦略製品の売上高は、対前年比 CER ベース 19%増（DKK15%増）の 190 億 1,100 万 DKK となり、総売上高の 77%を占めました。

- Rexulti[®]：62 億 500 万 DKK（CER ベース 23%増、DKK19%増）
- Brintellix[®]/Trintellix[®]：45 億 5,400 万 DKK（CER4%減、DKK6%減）
- Vyepti[®]：44 億 7,600 万 DKK（CER ベース 59%増、DKK54%増）
- Abilify LAI franchise²：37 億 7,600 万 DKK（CER ベース 10%増、DKK8%増）

EBITDA は 71 億 4,000 万 DKK となり、CER ベースで 38%増（DKK39%増）を記録しました。また、調整後 EBITDA は 78 億 8,100 万 DKK となり、CER ベースで 24%増（DKK24%増）となりました。収益性の改善は、主に Vyepti[®]および Rexulti[®]を中心とした戦略製品の持続的な成長に加え、規律ある資本再配分によるオペレーティング・レバレッジの拡大および厳格なコスト管理の徹底によるものです。一方で、イタリアにおける中核事業に含まれない生産拠点の売却計画に伴う減損損失が一部で影響しました。これらの取り組みにより、短期的な業績達成および価値創出に明確なフォーカスを維持しつつ、将来の成長に向けた継続的な投資が可能となりました。

EBITDA の成長は、重点プロジェクトやイノベーションへの戦略的投資、 Lundbeck の Focused Innovator Strategy の遂行、ならびに資本再配分に伴う一時費用の発生により研究開発費が増加したことから、一部相殺されました。

EPS は 3.22DKK となり、DKK ベースで前年比 2% 増となりました。また、調整後 EPS は 5.26DKK となり、DKK ベースで 5% 増となりました。これは EBIT の力強い成長を反映する一方で、金融費用および法人税の増加が一部影響しています。

当社の配当方針に基づき、1 株当たり 1.15DKK（総額 11 億 4,500 万 DKK）の配当を提案しており、これは 2024 年比で 21% の増配となります。

Lundbeck の社長兼 CEO の シャール・ファン・ジル は、次のように述べています。

「 Lundbeck は 2025 年において、年間を通じて一貫した実行力と堅調な第 4 四半期に支えられ、力強い業績を達成しました。過去最高の売上高は、主要な成長ドライバーの継続的な成長と、 Focused Innovator Strategy の規律ある遂行を反映しています。同時に、当社のパイプラインは複数のプログラムで着実に進展しており、2026 年には重要なマイルストーンを複数控えています。年末までに 5~6 件の中・後期開発段階の資産が前進する見通しです。 Focused Innovator Strategy 開始から 2 年が経過し、規律ある資本再配分と的を絞った投資が具体的な成果を生み出しており、2026 年の継続的成長と長期的な価値創出を支えています。」

主な指標

単位百万DKK	2025年	2024年	成長率 (CER) ¹	成長率 (DKK)	2025年 第4四半期	2024年 第4四半期	成長率 (CER) ¹	成長率 (DKK)
売上高	24,630	22,004	13%	12%	6,093	5,541	12%	10%
EBITDA	7,140	5,146	38%	39%	933	651	30%	43%
調整後EBITDA	7,881	6,347	24%	24%	1,609	1,151	32%	40%
1株当たりの利益(DKK)	3.22	3.17		2%	0.05	0.60		-92%
調整後1株当たりの利益(DKK)	5.26	5.01		5%	0.94	1.06		-11%

1. CER は、以前は現地通貨ベース(LC)。CER による変動にはヘッジによる影響は含まれません。

2. Abilify long-acting injection (LAI) franchise は以下の製品で構成されています： Abilify Maintena®, Abilify Maintena® 960 mg and Abilify Asimtufii®

最近のイベント

2026年1月30日、 Lundbeckは、エプチネズマブの有効性を評価した12か月間のリアルワールド試験であるINFUSE試験における6か月時点のデータを発表しました。本試験は、過去のいずれかの時点で少なくとも1種類の抗カルシトニン遺伝子関連ペプチド（aCGRP）による予防治療が奏功しなかった成人片頭痛患者を対象としています。

本結果は、米国カリフォルニアで開催されたHeadache Cooperative of the Pacific 2026年次学会（1月30～31日）にて発表され、エプチネズマブ点滴静注（IV）に切り替えにより、高い疾患負荷を抱える患者において複数の患者報告アウトカムでの改善が示されました。

2025年12月6日、 Lundbeckは、bexicaserin（LP352）の投与を受けた患者の最大2年間の長期投与結果を発表しました。本データは、米国アトランタで開催された米国てんかん学会（American Epilepsy Society）2025年次学会（12月5～9日）にて発表され、bexicaserin投与開始後速やかに発作頻度の減少を示した患者では、その効果が長期にわたり維持されることが示されました。

2025年12月2日、 Lundbeckは、発達性てんかん性脳症（DEEs）に関連する発作の予防を目的とした新規開発品であるbexicaserin（LP352）に関する新たなパイプラインデータを、米国アトランタで開催された米国てんかん学会2025年次学会（12月5～9日）にて公開すると発表しました。本データセットには、第Ib/IIa相PACIFIC試験および非盲検延長試験（OLE）の事後解析が含まれ、DEEs患者において、bexicaserinへの早期反応が認められた患者では、その効果が長期的に持続したことが示されました。

2025年11月14日、 Lundbeckは、日本において、エプチネズマブに関する製造販売承認申請を厚生労働省に行ったことを発表しました。また、中国および韓国においても同様の製造販売承認申請がされました。これらの申請は、アジア人を中心とした片頭痛患者におけるエプチネズマブの予防効果を確認した第III相SUNRISE試験の結果に基づき行われました。

<将来予測に関する記述>

本リリースには、新製品の導入、製品の承認、財務実績など、将来の出来事に関する当社の予想または予測を提供する、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、将来の結果、業績または成果を予測、予想、示唆または暗示するあらゆる記述が含まれ、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」またはそのような言葉の変形や類似の意味を持つ他の言葉が含まれますが、これらに限定されるものではありません。本リリースに含まれる過去の事実に関する記述以外のすべての記述（当社の財政状態、事業戦略、将来の事業運営に関する経営陣の計画および目標（当社製品に関する開発計画および目標を含むがこれらに限定されない））は、将来の見通しに関する記述です。

このような将来の見通しに関する記述には、既知および未知のリスク、不確実性、およびその他の要因が含まれており、当社の実際の結果、業績、または実績が、このような将来の見通しに関する記述によって明示または暗示される将来の結果、業績、または実績と大きく異なる可能性があります。将来の業績に影響を与える可能性のある要因には、金利や為替レートの変動、開発プロジェクトの遅延や失敗、生産や流通の問題、予期せぬ契約違反や解除、Lundbeck製品に対する当局の決定や市場情勢による価格低下、競合製品の導入、Lundbeckが新製品や既存製品の商業的成功、製造物責任やその他の訴訟へのリスク、償還規則や法律および関連する解釈の変更、コストや経費の予期せぬ増加などが含まれます。

本リリースおよびLundbeckを代表して行われた口頭発表における将来の見通しに関する記述は、本リリースの日付時点のもので、Lundbeckは、適用される法律または適用される証券取引所の規則によって義務付けられている場合を除き、本リリースまたはLundbeckを代表して行われた口頭発表における今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。

< Lundbeck (H.Lundbeck A/S) について >

Lundbeckは、脳の健康に特化したバイオ医薬品会社です。70年以上の神経科学の経を持ち、神経疾患や精神疾患を患う人々の生活を改善することに尽力しています。

脳疾患は世界中の多くの人々に影響を与え、その影響は社会全体に及びます。脳の生物学に関する理解が急速に進む中、私たちは新しい治療の機会を探求し、脳の健康を向上させる責任を果たしています。

私たちは、Focused Innovatorとして、最も複雑な神経学的課題に取り組むための研究開発プログラムに注力しています。精神医学と神経学の強力な基盤の上に、治療法がほとんどない、または全くない人々を対象とした革新的な医薬品を開発し、ニューロスペシャリティやニューロレアの分野に拡大しています。

私たちはスティグマと闘い、健康における公平性を改善するために行動しています。患者さん、そのご家族、そして社会全体に対して貢献することで、株主に長期的な価値を提供することを目指しています。

Lundbeckは、20か国以上で約5,000人の従業員を擁し、製品は80か国以上で販売されています。詳細については、www.lundbeck.com または [LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/lundbeck) をご覧ください。

< Lundbeck・ジャパン について >

Lundbeck・ジャパンは、2001年に日本法人を設立、2019年にコマーシャル本部を構築し営業活動を開始いたしました。精神・神経疾患領域に特化した製薬企業として、グローバルで蓄積した豊富な知識と知見をもとに、日本においても患者さんの治療向上とより良い生活に貢献するために取り組んでいます。 Lundbeck・ジャパンに関する詳しい情報は、www.lundbeck.co.jp をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

Lundbeck・ジャパン株式会社 コミュニケーション&パブリックアフェアーズ 岡 幸恵

Email: yuok@lundbeck.com Tel: 070-7538-5301 Fax: 03-5733-8691